

(問) 借金の返済額(公債費)は、予算規模から見て適正な水準にありますか？

(答) 本県の歳出予算に占める借金の返済額(公債費)の割合は、15.9%(平成18年度決算)と全国平均、九州平均を上回っています。

これは、本県の道路を始めとする社会資本整備が都市部に比べてまだ遅れていることから、公共事業費などの投資的経費にかけている予算が多いことが大きな要因です。

社会資本の整備状況や財政状況が各県で異なることから、返済額(公債費)の水準が適正かどうか単純に比較することはできません。

しかしながら、借金は必ず返さなければなりませんので、歳出に占める借入金の返済額(公債費)の割合が高ければ、福祉や教育の充実、さらには産業の振興等に使う県独自の予算が少なくなります。

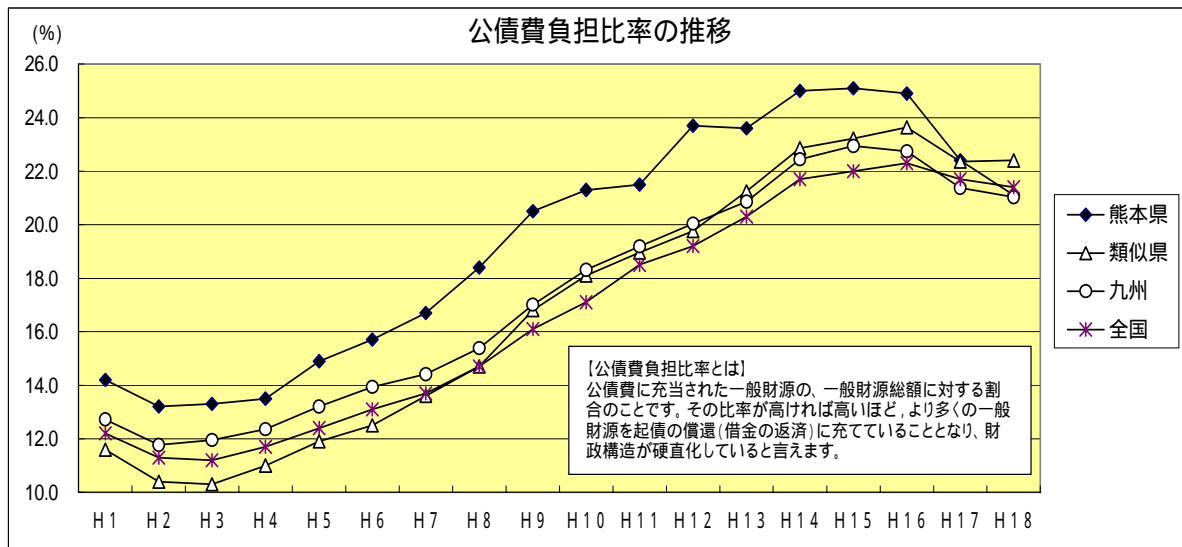
#### 平成18年度決算の歳出総額に占める公債費

公債費	金額 (億円)	歳出全体に占める割合		
		本県	全国平均	九州平均
	1,158	15.9%	14.5%	14.2%

公債費負担比率: 公債費に充当された一般財源の一般財源総額に対する割合。

15%が警戒ライン、20%以上が危険ラインとされている。

(\* 一般財源は、財源の用途が限定されていない地方税、地方譲与税、地方交付税等)



	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
熊本県	14.2	13.2	13.3	13.5	14.9	15.7	16.7	18.4	20.5	21.3	21.5	23.7	23.6	25.0	25.1	24.9	22.4	21.1
類似県	11.6	10.4	10.3	11.0	11.9	12.5	13.6	14.7	16.8	18.1	19.0	19.8	21.2	22.9	23.2	23.6	22.4	22.4
九州	12.7	11.8	12.0	12.4	13.2	13.9	14.4	15.4	17.0	18.3	19.2	20.0	20.9	22.4	22.9	22.7	21.4	21.0
全国	12.2	11.3	11.2	11.7	12.4	13.1	13.7	14.7	16.1	17.1	18.5	19.2	20.3	21.7	22.0	22.3	21.7	21.4